

2018年度コラボミュージアム作品づくりコンテスト

小学校・中学校部門 アピールシート

平成 31年 1月 20日

所属名 : 愛知県 岡崎市立六ツ美北部小学校

実践学年組: 特別支援学級

氏名: 杉山康子

教科	総合的な学習の時間・英語・図画工作
実践期間	30年 6月 1日 ~ 31年 1月 15日
<p>実践タイトル (35文字以内)</p> <p>「世界中の人と友達になろう」 ～台北市立螢橋國民小學校と協働学習を通して～</p>	
<p>実践の目的</p> <p>「アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト」は、海外のパートナー校とインターネットを使って、世界共通のテーマについて学び合い、世界に訴えるメッセージを込めて一枚の壁画を半分ずつ描いて共創する国際協働学習です。</p> <p>今回の協働学習は、お互いの文化の似ているところや違いを学んでいます。そして、地球を大切にするためには、「世界中の人と友達になろう」というメッセージを伝えることになりました。</p>	
<p>実践のポイント・工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いのことを知る活動は、コラボノートにまとめる、ビデオレターを制作する、Skypeで紹介し合うと3種類の方法を用いました。 ・生物、食べ物、文化の共有には、コラボノートに感想や質問を書き込みました。 ・台北市立螢橋國民小學校の友達が来日したときには、壁画の色塗りだけではなく、一緒に歌ったり、太鼓の演奏をしたり食事をしたり協働学習し、友達になることを体感できるようにしました。 	
<p>実践内容 (簡単に)</p> <p>自己紹介、学級・学校・地域紹介をコラボノートやビデオレターにまとめました。それらを見合ってから、スカイプで交流を行い、親近感をもちました。</p> <p>紹介し合った中から、太鼓の演奏や獅子舞など共通な文化を調べて互いに理解したり、台湾の民謡「拍手歌」の太鼓演奏や歌の練習をしたり、特色のある建物や自然を紹介し合う活動をしました。</p> <p>地球を大切にするためには、世界が平和であること、地球環境を守ることと相手校からの提案がありました。それを具体的に行動に移すことを考えて、私たちは、「世界中の人と友達になろう」というメッセージを考え、壁画のデザインを考えました。友達になるためには、活動と一緒に仲良くすること、その活動内容と一緒に食事をしたり、音楽を演奏したりすることが良いと考え、中央に食事のテーブル</p>	

ルや演奏ステージを設けました。そして、虹のレールで世界中に出かけようと台湾の電車と日本の電車を配置しました。それぞれの文化が対比と共有ができるように何度も話し合い最終的なデザインを決定しました。

壁画の色塗りは、日本の部分から始めました。背景やステージなど共通部分は台湾の友達と一緒に色を塗りました。来日している間には、歌や太鼓の演奏を一緒にしたり、食事をしたり、壁画にデザインしたことを実際に行い、「友達になろう」を直接交流でより強い絆で実現することができました。

その後、壁画が完成してから、壁画を完成させるための苦労や伝えたいメッセージについて、コラボノートにまとめたり、スカイプで伝えあったりしました。日本に壁画が届いてから、スカイプやコラボノートを使って、もう一度伝えたいメッセージを宣言する予定です。

(コラボノートを) 使用してよかった点を教えてください。

Skype は、直接交流に近い臨場感や高揚感がある半面、その時に聞いた英語は記憶にとどめておくことが難しいです。コラボノートにその言葉を書きとめることで、読み返すことができ、次の思考の手掛かりにすることができました。

実践記録の概要（単元略案）

※コラボノートを活用した場面だけではなく、全体の学習の流れとコラボノートをどの場面でもどのように活用したか記載してください。

全30時間

時数	学習活動	先生の指導・支援 および評価	コラボノートの活用
7	自己紹介をしよう ・名前と好きなものを紹介する。 ・学級、学校、地域を紹介する。	・好きな食べものと果物をイラストの中から選べるようにする。 ・英語で自己紹介ができるように支援する。 ・学級、学校、地域を紹介するビデオ撮影の支援をする。	・self-introduction ・introduction of City and School ・名前・写真と好きな食べものと果物をコラボノートにまとめる。
4	螢橋國小の友達と仲良くなろう ・送られてきたビデオやコラボノートを見て、自分と似ているところや違うところを見つける。 ・相手に聞いてみたいことを記入する。 ・Skype で自己紹介をしあう。	・英語と日本語を相互に翻訳して理解できるようにする。 ・世界地図、台湾地図など掲示し、紹介されている場所などを親しみやすくする。 ・英語で自己紹介ができるように支援する。	・self-introduction ・introduction of City and School ・相手の自己紹介に感想や質問を記入する。

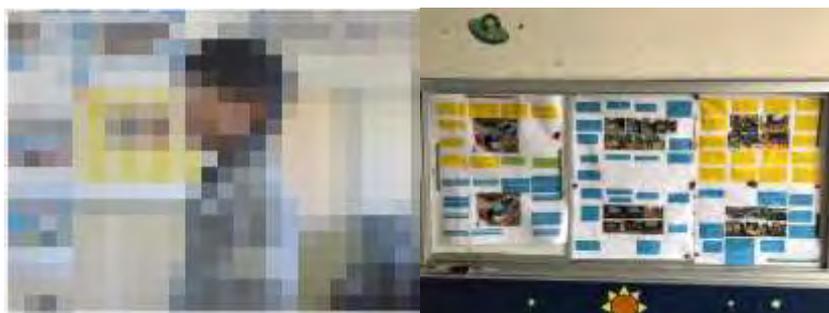
4	文化の類似点・相違点を共有する。 ・生物、食べ物、文化などに分けて、比較する。 ・台湾の伝統的な音楽を和太鼓で演奏しよう。	・相手からの説明を緑色、相手校からの質問を青色の付箋に記入しておく。 ・答えや感想を黄色、質問をピンク色の付箋に書き込めるようにする。 ・台湾の民謡「拍手歌」を和太鼓演奏用に編曲する。	・ introduction of City and School ・付箋の色を変更する。 ・英語と日本語を相互に翻訳する。
5	壁画のデザインを考えよう ・壁画に描きたい絵を考える。 ・壁画に描きたい絵をSkypeやコラボノートで相手校に伝える。	・類似点のあった生物、食べ物、文化から描きたい絵を考えるように声を掛ける。 ・児童の絵を組み合わせて壁画のデザインを一緒に考える。	・Mural's ideas 壁画のデザインを順に載せ、相手校とデザインを合わせる。
6	壁画を完成させよう ・分担をして、順に色を塗る。 ・背景や虹、ステージを相手校と一緒に塗る。	・絵の具の混色の仕方や色の塗り方を支援する。	・Mural's ideas 壁画の色塗りを順に載せて記録に残す。
4	世界の人へ伝えたいメッセージを発信しよう ・3日間の直接交流で感じた事をまとめる。 ・直接交流で感じたことを発表し合う。 ・台湾での壁画の完成後、Skypeとコラボノートでメッセージを伝えよう。	・学級歓迎会、全校歓迎会の開催を支援する。 ・壁画の色塗りだけではなく、一緒に歌ったり、太鼓の演奏をしたり食事をしたり協働学習できる場を提供する。 ・相手意識をもって感じたことを発表できるように支援する。	・ Summary of Collaborative Learning ・日本側の付箋を青色、相手側の付箋を黄色にして伝えたいメッセージを記入する。



★教師間で使い方説明

★蛭橋国小の子供たちの利用

★協働学習まとめ発表会①



★協働学習まとめ発表会②

★蛭橋国小での掲示